



2020年4月1日

各 位

上場会社名 株式会社 技研製作所
 代表者 代表取締役社長 北村 精男
 (コード番号 6289)
 問合せ先責任者 取締役 藤崎 義久
 (TEL 088-846-2933)

2020年8月期第2四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2019年10月10日に公表いたしました2020年8月期第2四半期累計期間の連結業績予想を下記のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2020年8月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年9月1日～2020年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,700	3,030	3,030	2,100	77.12
今回修正予想(B)	14,471	2,491	2,532	1,688	61.88
増減額(B-A)	△2,228	△538	△497	△411	
増減率(%)	△13.3	△17.8	△16.4	△19.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年8月期第2四半期)	14,173	3,209	3,253	2,284	84.71

修正の理由

国内市場におきましては、大型圧入機の販売は堅調に推移したものの、建設技能労働者不足を背景とした入札の不調・不発の増加や東京オリンピック・パラリンピック終了後の需要動向など先行きの不透明感から、顧客が設備投資に慎重となる傾向が見られ、主力製品であるU形鋼矢板400mm用圧入機の販売が減速、結果、建設機械事業売上が当初計画より減少する見通しとなりました。しかしながら、公共投資は順調であり、インプラント工法の採用件数も増加していることから、今後、販売の回復に向けて取り組んでまいります。

また、海外市場におきましては、グローバルエンジニアリング企業としての体制強化に注力しておりますが、現時点においてインプラント工法の普及が道半ばであり、当初計画よりも建設機械事業売上が減少する見通しとなりました。

以上の結果より、売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益の予想を上記の通り修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、現在精査中であり、第2四半期決算発表時にお知らせいたします。

(注)上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上